

# 千葉地域の農業の振興

千葉農業事務所改良普及課

## 地域農業を支える多様な担い手の育成・確保

- 1 新規就農者等の営農技術向上と就農定着  
【農業経営体育成セミナー受講者 36 名、青年農業者等スキルアップ研修受講者 66 名】  
・新規就農者の定着者数（セミナー修了者数）：23 名→38 名・認定農業者数：15 名（最終年度目標 14 名）
- 2 地域で活躍する女性農業者の育成とパートナーシップ型農業経営の推進  
【管内若手女性農業者 60 名、ちば地区女性農業者ネットワーク会員 27 名、家族経営協定締結意向農家 1 戸】  
・若手女性農業者のセミナー等修了者数：12 名→20 名  
・家族経営協定締結数：39 戸（最終年度目標 39 戸）

## 持続性のある園芸産地づくり

- 3 豊秋冬にんじんを核とした園芸産地の維持  
【J A 千葉みらい千葉東部地区出荷組合連合会人参加部会 58 戸、J A 千葉みらい土気地区出荷組合連合会人参加部会 17 戸】  
・販売金額（東部・土気）：1.5 億円→1.8 億円・0.8 億円（最終年度目標 0.7 億円）、出荷量（東部・土気）：1,132t→1,600 t・620t→700 t・作付面積が 150 a 以上の担い手の数（東部+土気）9 戸（最終年度目標 9 戸）
- 4 県都市化の著しい地区での春夏にんじん産地の維持  
【J A 千葉みらい幕張地区出荷組合連合会人参加部会 15 戸、J A 千葉みらい習志野市園芸部人参加部会 10 戸】  
・春夏にんじん出荷量：594t→1,000t  
・春夏にんじん販売額：1.17 億円→1.20 億円  
・担い手の平均面積：73.8a→90a
- 5 都市地域条件を生かしたいちご経営体の育成  
【千葉市いちご経営体 26 経営体】  
・所得 550 万円以上の経営体数：8 経営体→9 経営体
- 6 豊だいごんの産地強化と地域をリードする経営体の育成  
【J A 市原市姉崎蔬菜組合 15 戸】  
・出荷量：111.7 万ケース（1 ケース 10kg）11,170t→150 万ケース（1 ケース 10kg）15,000t  
・販売額：13 億円→13.5 億円
- 7 豊温暖化対策と改植促進によるなし産地の維持  
【市原市農業振興協会果樹部梨部会 62 戸】  
・温暖化に対応した栽培管理方法導入した生産者数：39 戸→39 戸（最終年度目標 28 戸）  
・主要な担い手の栽培面積：18.6ha→19ha



若手農業者との営農相談

- 8 豊中核的生産者の規模拡大による春夏にんじん産地の維持  
【J A 八千代市人参部会員及び元部会所属の計 26 戸（うち 10 戸は研究部所属）】  
・販売額：0.89 億円→1.10 億円  
・出荷量：439 t→950 t  
・研究部の平均栽培面積：59.9a→85.0a
- 9 豊島主要な担い手を核としたなし産地の維持  
【八千代市梨業組合 52 戸、うち主要な担い手 28 名/26 戸（研究部 18 名、研究部 O B 10 名）】  
・主要な担い手による栽培面積：32.1ha（最終年度目標 31.9ha）  
・規模拡大農家戸数：8 戸（最終年度目標 5 戸）
- 10 豊経営改善に取り組む花き経営体の育成  
【大規模施設花き経営体 8 戸（千葉市 4 戸、市原市 2 戸、八千代市 2 戸）】  
・販売金額 1,500 万円以上の花き経営体数：5 戸→8 戸

## 農業基盤を守る地域営農の仕組みづくりと経営体の育成

- 11 水稲経営体の経営安定化による地域水田の保全  
【千葉市内水稲経営体 5 経営体】  
・水稲経営面積：155ha（最終年度目標 140ha）  
・主食用以外の米の作付面積：47.3ha→56.0ha
- 12 豊水稲経営体の規模拡大と営農組織による農地維持  
【市原市の水稲主業経営体 21 戸、市原市内の土地改良区等】  
・水稲経営面積：607ha→630ha  
・集落営農法人の設立組織数：4 組織（最終年度目標 4 組織）
- 13 集落営農組織の育成と営農体制の強化  
【八千代市水稲主業経営体 7 経営体、八千代市飼料用米生産・利用協議会のうち W C S 用稲や飼料用米を生産する経営体 7 経営体  
・八千代市水稲主業経営体の水稲経営面積：171.1ha（最終年度目標 170.0ha）  
・低コスト・省力化技術（乾田直は、プール育苗等）の導入数：6 経営体→10 経営体

## 経営改善による畜産経営体の体質強化

- 14 豊規模拡大や経営改善による畜産経営の安定化  
【経営改善に意欲がある畜産経営体 26 戸（千葉市 cow 飼う会 7 戸、市原市ホルスタイン改良同志会 7 戸、市原養豚研究会 7 戸、八千代市酪農経営体 5 戸）、飼料作物生産組織 2 組織】  
・経営改善実践農家：10 戸→11 戸  
・新たな地域内飼料生産利用面積（WCS 用稲、高栄養・高収量作物）：36ha（最終目標値 26ha）